

平成 29 年度第 1 回遠軽地域まちづくり会議録（要旨）

- 日 時 平成 29 年 8 月 7 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分
- 場 所 遠軽町福祉センター 2 階 2 号会議室
- 出 席 宮崎会長、斉藤（晴）委員、斉藤（ひ）委員、橋口委員、藤田委員
- 欠 席 大平副委員長、生出委員、竹之内委員、平野委員、村上委員
- 町出席者 総務部企画課 佐藤課長、中原主幹、松村係長
- 会議内容

1 開会

18：30 開始 佐藤企画課長

2 会長あいさつ

（宮崎会長）昨年度は 1 回生田原地域と合同で開催し、町長も来られた。今年度は単独でやった後に合同で会議をする。昨年と違う方法。出席者が少ないが、色々な意見を出していただき、いい会議にしたい。よろしくお願ひする。

3 平成 29 年度遠軽地域まちづくり会議の進め方について

資料 1 に基づき、中原主幹説明。質疑等なし。

4 町からの話題提供

資料 2 に基づき、佐藤課長説明。質疑等なし。

5 まちづくりワークショップ

ワークショップの進め方については、資料 3 に基づき中原主幹から説明。

（宮崎会長）会議をもっとリラックスさせるために自己紹介をお願いしたい。

（斉藤晴委員）平成 16 年に自衛隊を定年退職。共立病院に 12 年間勤めて、現在、シティでアルバイトをしている。町に関わりたいと思い、福祉関係の審議会委員になった。道の駅の検討部会にも参加している。

（橋口委員）ハトヤパンでおいしいパンを作っている。家族は妻と子供 3 人。J C（遠軽青年会議所）に所属し、町民センターの検討委員にもなっている。若くて経験が浅いが、色々な会議に参加させていただいている。

（斉藤（ひ）委員）遠軽信用金庫に勤務。独身で実家にいる。職場と家の行き来しかしていないので、どれだけ意見が出せるか分からぬが頑張っていきたい。

（藤田委員）専業主婦。町に関わる役員を次々やっていて、頭がこんがらがっている。元々高校卒業まで遠軽において、そのころはこの町が嫌いで札幌に出て行って、訳あって町に戻ってきて、住むからにはいい町にしたいと思い、来た話は絶対断らないようにしている。昨年から音楽で町に元気をしたいと思い、アーティスト活動もしている。

（宮崎会長）教員をしていた。出身は美幌町で、親も亡くなつて定年後にどこに住むかとなつて、当時、病院も交通もしっかりしているということで、勤務経験のあった遠軽に住むことにした。しかし、この 20 年間で変わってきた。自治会長から連合会の会長を

やっている関係でいろんな会議に出席して町民代表みたいに委員させられている。

自己紹介のあと、個人ワーク、グループワークを実施。次のような意見等が出された。

(遠軽ブランド醸成について)

- ・遠軽といえばコレ！（食べ物、お土産、観光資源）と言えるものがない。道の駅に向けて用意しないと。
- ・お菓子屋さんが少なくなった。
- ・「えんがる」と呼んでもらえない。知名度がない。
- ・コスモスの川柳には、全国から応募がある。
- ・遠軽ブランドの候補として、アスパラ、瀬戸瀬温泉、マイスターのコスメ、白滝じやが、ガンダム。
- ・遠軽の未来を考える女性の会では、瀬戸瀬温泉の魅力アップのため、ボランティアで「お掃除隊」活動を始めている。

(産業活性化について)

- ・駅前にコンビニがほしい。キオスクがなくなったので、出張の時に困る。
- ・ファミリーレストランのようなところがない。
- ・カレーライスの食べ歩きをしている。15～16件回っていて、小さな店はたくさんある。あまり知られていないのではないか。
- ・お菓子屋さんが少なくなってしまった。
- ・商店街のシャッターが閉まりすぎ。何か盛り上げる仕掛けが必要。
- ・一次産業をもっと育てる。

(情報共有・情報発信について)

- ・イベントや各種団体等の活動が色々あるが、十分に行き渡らずどこで何ができるかわからない。もっと周知を。
- ・ヒンメリの会、魅力的な活動をしているので、ぜひ広めてほしい。
- ・広報紙などの紙媒体では届きにくい、声による情報発信（コミュニティラジオ）が効果的ではないか。東川町の視察で聞いてきた。
- ・議会報告会が一方的な説明で町民の意見が反映されていないと聞いた。

(交流の場づくりについて)

- ・町民センターを建設するが、集客のためのイベントが重要。ハードだけでなくソフトも充実させるように。
- ・普段からサロンのような老若男女自由に交流できる場所があるといい。
- ・お祭りのようなものがあると活性化する。
- ・全町民が意識して取り組める何かがあるといい。
- ・どこと、どういう連携をすると効果的かがわかるといい。

- ・JCの冬のイベント、消費者協会の料理教室など人を集めていいイベントを開催している。まず、集まる機会を作ることが大切。
- ・やりたい人はたくさんいるが、どうしたらいいかわからない。
- ・各地域で独自にイベントをやっている。

(子育てしやすい環境づくりについて)

- ・地域に子どもが少なくなった。
- ・子どもが遊ぶ場所がもっとほしい。公園・緑地が少ない。
- ・保育士が確保できず、受け入れができないという状況がある。

(高齢化対策について)

- ・高齢者の運転免許返納にインセンティブを設けてほしい。
- ・検診受診率を上げるために補助を充実させてほしい。
- ・少子高齢化を逆手にとって、連携した取組ができるないか。
- ・単身高齢者の見守り。
- ・老人福祉施設の不足。

(人づくりについて)

- ・若い人の就労支援。奨学金。
- ・遠軽高校の部活動を表彰したい。

(JR問題について)

- ・道路もJRも絶対に必要。
- ・JR問題は住民に押し付けるべきではない。

(その他)

- ・ハコモノは、将来負担を考えて最小限に。
- ・ごみの収集、地域差があると聞く。
- ・自衛隊を強化・増員する。

6 今後のスケジュール

もう1回地域会議を開催する。9月4日(月)18時30分からとする。次回はもっと別な観点からの意見がないか、発表方法などについて協議する。

7 平成30年度以降のまちづくり会議のあり方について

次回協議する。

8 その他

特になし

9 閉会

20:30 終了